

平成29年9月29日

日進市立日進西中学校

保護者各位

日進市教育委員会 教育長 吉橋 一典

日進市立日進西中学校長 平山 雅之

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

見出しの調査は、3年生の生徒を対象として、国語と数学について、その学力の一部を「知識」「活用」といった観点から調査したものです。また、生徒の学習意欲や生活習慣等についても、質問紙によって調査を行いました。この度、市全体と各学校の傾向をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。基礎基本の一層の徹底を図るとともに、調査結果を今後の学習指導に生かしていきたいと考えております。ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 日進市全体の結果について

国語、数学とも「知識に関する問題」（A問題）の方が「活用に関する問題」（B問題）より平均正答率が高くなっています。また、全国・愛知県の結果より、各教科ともに平均正答率が高くなっています。

（1）国語

どの領域・観点においても学力の十分な定着がみられます。特に、登場人物の言動や場面の展開などの描写について、内容を理解する能力に優れています。また、目的に応じて資料を効果的に活用して話すことができています。

今後もさらに学力を定着させるためにはどのような方策・工夫が必要であるか、各学校での分析・研究を通して、より良い教育活動につなげていきます。

（2）数学

どの領域・観点においても学力の十分な定着がみられます。特に、基本的な計算技能、一次方程式の解法、関数の基礎の理解について優れています。今後も、さらに基礎、基本的な知識・技能の定着をはかっていきます。

その一方で、「数学的な考え方」の領域への取組に課題があります。具体的には、「事象を的確に捉え立式し、説明する」「筋道を立てて説明する」能力です。優れた能力を生かし、情報を整理して言葉、数、式を用いて考え、説明する活動を充実させ、見方や考え方を深めることができるような学習活動に取り組んでいきます。

（3）生活面

昨年と同様、「学校に行くのは楽しい」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった」と感じている割合が高くなっています。また、授業の予習、復習に力を入れて学習習慣が身に付いています。今後も学校生活をより充実させていく取組を学習・行事を通して進めたいと考えています。

一方で、地域の行事に参加したり、地域・社会の出来事に関心をもったりするなどといった地域・社会への関心がやや低い傾向がみられますが、ボランティア活動に参加した経験がある割合は高いです。この点を生かし、教育活動の中で地域との交わり、連携する場を増やしていきたいと考えています。

※ 裏面に本校の結果を載せました。ご覧ください。

2 日進西中学校の結果について

(1) 国語

全ての領域・観点において全国・愛知県の結果より、平均正答率が高くなっています。中でも、「書く力」「読む力」の領域の正答率はとても高くなっています。また、「活用に関する問題」は、全ての問題で正答率が全国・愛知県より高く、応用力が身に付いています。

しかし、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では課題が見られました。「文脈に即して漢字を正しく書く」ことや「楷書と行書の違い・行書の特徴を理解する」など、言語についての基礎、基本や言語能力が伸びる学習の工夫が必要であると考えています。

(2) 数学

全ての領域・観点において全国・愛知県の結果より、平均正答率が高くなっています。特に、「数と式」の領域では、全ての問題で全国・愛知県の結果より高く、方程式等を含む基礎的な立式や計算の力が身に付いています。

一方、「図形」や「関数」の領域で課題がみられました。特に「対称性を的確に捉える」ことや「証明」、「関数の関係を表で表す」などで力が定着していないところがみられました。図形や関数に対する見方や考え方を伸ばす工夫が、今後一層必要であると考えています。

(3) 生活面

「家で、自分で計画を立てて勉強している」生徒は全国・愛知県に比べて高く、家庭での予習の実施率は、全国・愛知県と比較してもとても高いですが、復習においては半数にも達していない現状がみられました。学習に関しては、「原稿用紙 2～3 枚の感想文や説明文を書くことは難しい」「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と感じている生徒が半数以上と割合が高く、授業の中で自分の考えを書いたり、発表したりする機会を増やしていく必要があると考えています。

また、「学校に行くのは楽しい」「学校で友達に会うのは楽しい」と感じている生徒の割合が高いです。一方で、「話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」や「人が困っているとき、進んで助ける」割合は低くなっています。学習や行事を通して、話し合い活動やコミュニケーション能力を高めていく必要があると考えています。

他にも、平日 1 日当たりの携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用やゲームの時間を 1 時間以上と答えた生徒が半数以上だったのに対して、平日 1 日当たりの読書の時間は 10 分より少ないと答えた生徒が約半数でした。スマートフォンやインターネットのルールやマナーを守って使用できるように指導を進めていくと同時に、朝読書の推進や学校図書の実充をはかっていきたいと考えています。